

Java環境説明書

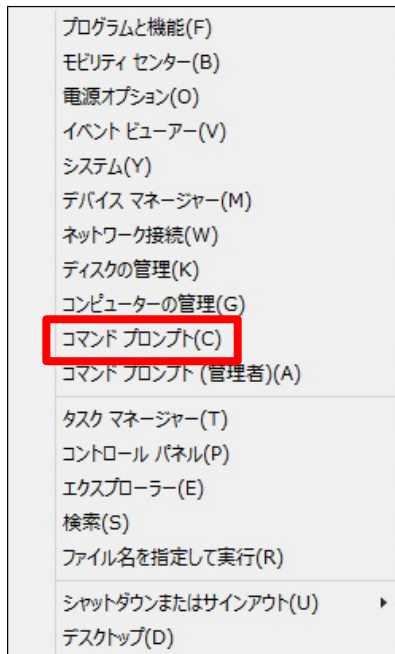
フリーソフトウェアFalconEyeGIS (Javaアプリケーション)を動作させるためには、Javaの環境を整える必要があります。

Javaの環境がすでにあるかチェックする

①コマンドプロンプトの画面を表示します。

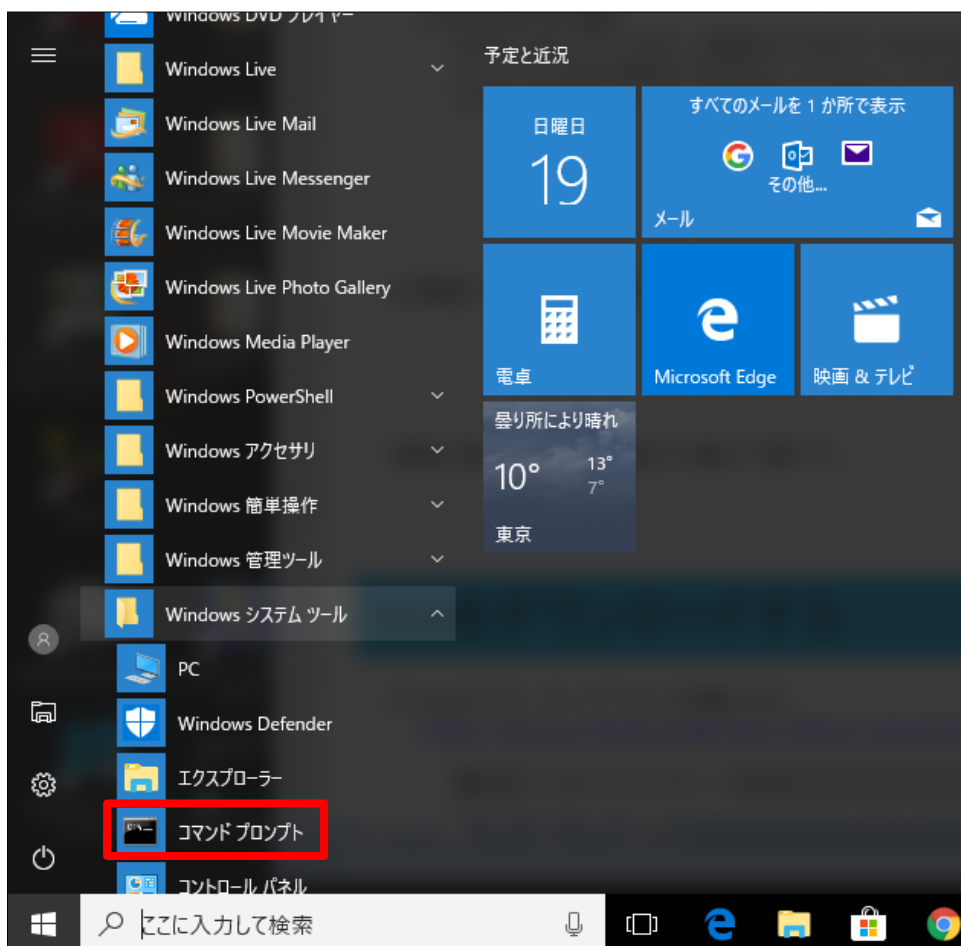
□Windows8の場合

- Windowsのスタートボタン(画面左下のボタン)を右クリックします。
- メニューの中から「コマンドプロンプト」をクリックします。



□Windows10の場合

- ・Windowsのスタートボタン(画面左下のボタン)をクリックします。
- ・メニューからWの項目の「Windows システムツール」をクリックします。
- ・その中の「コマンド プロンプト」をクリックします。



②環境の有無をチェックします。

- ・表示された「コマンドプロンプト」の画面から「java -version」を入力します。
- ・バージョン番号が「1.6」以上の場合、「フリーソフトウェアFalconEyeGIS」が動作するための環境はすでに整っています。

この場合は、バージョン1.8の環境が存在しています。

```

Microsoft Windows [Version 10.0.15063]
(c) 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\¥ ¥¥ ¥ > java -version
java version "1.8.0_121"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_121-b13)
Java HotSpot(TM) Client VM (build 25.121-b13, mixed mode)

C:\Users\¥ ¥¥ ¥ >

```

- ・環境が存在しない場合、「1.5」以下のバージョンが表示された場合、または最新のJavaバージョンをインストールしたい場合は、次の手順でJavaをインストールして下さい。

Javaをダウンロードする

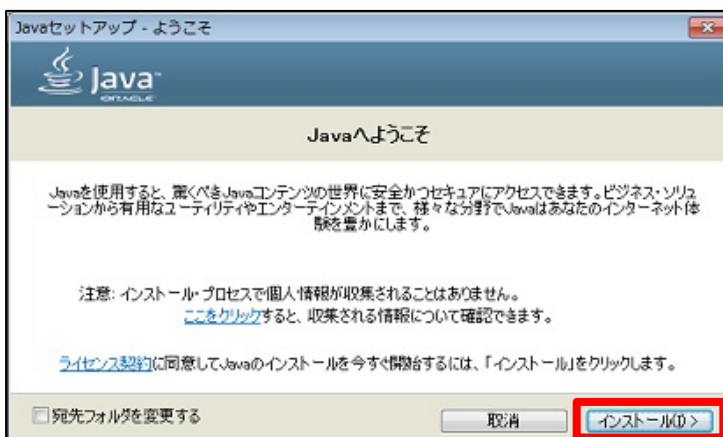
- ①Javaのダウンロードサイトに移動し、「Windows オンライン」をクリックします。
<https://java.com/ja/download/manual.jsp>



- ②ダウンロードするファイルを実行するか保存するかを尋ねる「ファイルのダウンロード」ダイアログ・ボックスが表示されますので「実行」をクリックします。



- ③「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」の確認画面で「はい」をクリックします。
 ④「Javaセットアップ - ようこそ」のダイアログ・ボックスが表示されますので、「インストール」ボタンをクリックして使用許諾契約の条項に同意し、インストールを続行します。



- ⑤いくつかの画面が表示されて自動的にまた閉じられますが、最後に「Javaセットアップ - 完了」の画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。



- ⑥新しく開いたコマンドプロンプトの画面で「java -version」を入力し、javaが動作することを確認します。正しく設定が完了していると、以下のようにインストールしたJavaのバージョンが表示されます。これでJavaのプログラムを動作させるための作業が完了です。

(例)バージョン「1.8」がインストールされた場合。

